



二十歳のつどい — 新たな門出 —

岡町民会館 ☎028(677)0009

「令和7年芳賀町二十歳のつどい」が1月12日(日)、町民会館で開催されました。
 今年の対象は、平成16年4月2日から平成17年4月1日に生まれた165人で、式典には125人が参加。
 会場には、色鮮やかな振袖や真新しいスーツ姿の参加者たちが集まり、改めて将来への決意を固め、新しい道への第一歩を踏み出しました。
 式典の後には、同窓会が農業者トレーニングセンターで行われ、久しぶりに会う旧友や恩師と笑顔で写真を撮り合ったり、思い出話に花を咲かせたりしながら、楽しい時間を過ごしました。
 広報はが2月号では、会場に集った二十歳の皆さんのほじける笑顔や想いをお届けします。

令和元年度芳賀中学校卒業クラス



3年1組



3年2組



3年3組



3年4組



3年5組



二十歳の主張

小野里 洸星さん



私たちは、大きな節目となる年を迎え、今こうして再び一堂に会することができました。見違えるほどに成長した旧友たちと再会し、あの頃に戻ったような気がして、大変うれしく思います。そして、私たちがここまで育て導いてくれた家族、温かく見守ってくださった地域の皆さまに、この場を借りて感謝を申し上げます。

私は今、故郷であるこの町を離れ、一人暮らしをして大学に通っています。自分で考え、やらなければならぬ毎日です。時には、自分が見て来た、余裕があり頼れる大人たちの姿と、今の未熟な自分の姿を比べて、自分もあんな大人になれるのだろうか、と不安に押しつぶされそうになることもあります。

しかし、こうしてこの町に帰ってきて、友人と談笑し、家族と食卓を囲み、温かく優しい空気に触れると、理想の大人になるために、一歩ずつ前に進んで行こうと背中を押されたような気がしました。

大人になるといふことは、今の私たちが思い描いているよりも、遥かに過酷で、困難なことなのかも知れません。不安にあふれた社会で、この先、どのように生きていけば良いのか分からなくなるかも知れませんが、それでも、たとえ目の前の道が真っ暗でも、たとえ道が無かったとしても、私たちが必ず道を切り開き、築いて行くことができると信じています。そして、かつて憧れた大人たちがそうしてくれたように、私たちが将来、未来の世代の道しるべになれるよう、さらに成長して行きます。そうして、いつか理想の大人になれた時に、またこの町に帰ってきて、お世話になった皆さまに胸を張って「ただいま」と言えるよう、一瞬一瞬を大切に、悔いのないように生きて行きます。

私たちはまだまだ未熟で、迷うことも多々ありますが、今後とも温かく見守ってくださいませよう、お願い申し上げます。

実行委員長あいさつ

大根田 渉さん



本日は、芳賀町長さまをはじめ、ご来賓の皆さまにおかれましては、公私共にご多忙のところご臨席を賜り、厚くお礼申し上げます。

このような「二十歳」という節目の歳を迎えられた喜びを感じると共に、責任の大きさに身が引き締まる思いです。

今この場に立ち、これまでの人生を振り返り、私が感じることは、今まで出会った多くの方への感謝の気持ちです。いつもそばで支えてくれた家族、熱心にご指導くださった恩師の皆さま、温かく見守ってくださった地域の皆さま、そして切磋琢磨しい助け合ってきた仲間たちには、心から感謝しています。また、恩師や懐かしい仲間たちと久しぶりに再会することができ、とても嬉しく貴重な時間となっております。

私たちは今、学生として勉強中の人、すでに社会人として仕事に奮闘中の人、まだ将来の夢を迷っている人などさまざまです。一人一人が置かれている立場は違いますが、それぞれが自身の目標に向けて一歩一歩あゆみ続けています。

「二十歳」という大きな節目を迎え「二十歳」としての自覚と責任を持ち、この先も「感謝の気持ち」と「人との縁や関わり」を大切に、社会、そして私たちが生まれ育った芳賀町の、今後一層の発展のために力を尽くして参ります。

社会人としてまだまだ未熟な私たちですが、どうかこれからも、温かい目でご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

また、本日は参加者の皆さん一人一人が主役です。今日この会が、皆さんにとって思い出深いものとなるよう、二十歳のつどい実行委員は心を尽くして準備して参りました。この会の成功のため、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、皆さまのご健康とご多幸をお祈りし深く感謝を申し上げます。私達のお礼の言葉とさせていただきます。

